

令和6年度 加古川市立志方小学校 学校評価

1 教育目標

かしこく やさしく たくましく

2 基本方針

- ・学習の楽しさを知り、自ら学ぶ子の育成
- ・自他を大切にし、思いやりに満ちた人間関係を築ける子の育成
- ・心も体も健康で、粘り強く最後までやりぬく子の育成

3 指導目標

- (1)信頼される学校づくり
- (2)学習意欲の向上、確かな学力の定着
- (3)豊かな心の育成
- (4)健康な体づくりの推進
- (5)教職員の豊かな人間性と指導力の向上

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
信頼される学校づくり	コミュニティースクールとして、学校園のつながりを深め、家庭や地域と連携し、目標やビジョンが共有されている。	B	生活科や総合的な学習を軸として家庭や地域と協働しビジョンを共有する。学校だよりや二の丸だより等で情報発信し、つながりを深める。
確かな学力の定着	理由や根拠をもち、自分が考えたり判断したりしたことを、自分の言葉で表現し伝えることができている。	B	共同的探究学習に取り組み、さらに授業改善に努める。児童一人一人の学習状況を看取り、適切な支援をしていく。
豊かな心の育成	人権教育や道徳教育の充実を図るとともに、いじめの未然防止、見逃しゼロ、早期発見に努め、自分や他の人を大切にしたい教育が推進されている。	B	いじめ防止対策改善プログラムにそって全職員で組織的に取り組む。小さなことも見逃さず、情報共有を密に行う。
健康な体づくりの推進	基本的な生活習慣を身に付け、体力づくりに取り組み、安全に留意して生活しようとする事ができている。	C	学校保健委員会やインターネットトラブル防止教室など保護者の参加の啓発方法を工夫し家庭とも連携しながら進める。
教師力の向上	ICTを教科・単元に応じて活用したり、指導法を工夫したりし、思考力・判断力・表現力を育む授業が進められている。	B	ICTの活用については、考えを共有することに留まるのではなく、深めるような活用方法を実践する。職員研修を行い児童一人一人を大切にし専門性と人権感覚を高めるよう研鑽を積む。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
学校の情報は二の丸だよりなどでよく分かる。少ない教職員数でありながら工夫して学校運営をしている。	A
教師も児童もICTを巧みに使い学習を行えている。授業を参観した際、理由を自分の言葉で説明しながら発表していた児童もいた。今後も継続して取り組んでほしい。	A
縦割り班活動などよい取り組みがされている。今後も継続して取り組んでほしい。	A
スマホや規則正しい生活習慣は家庭の協力が必要。学校からの啓発の方法も工夫して今後も家庭と連携しながら取り組んでほしい。	B
ICTの活用方法など先生方がよく勉強していることがわかる。今後も継続して取り組んでほしい。	A